

# 中学校給食に関するアンケート結果の概要

## 1 実施期間

2017年7月3日～31日

## 2 対象

ゆくのき学園武蔵岡中学校を除く町田市立中学校19校の生徒（1・2年生：6823人）及びその保護者、全教職員（630人）

## 3 目的

町田市の中学校給食は、2005年に弁当持参か給食かを選択できる弁当併用外注方式によって開始した。当初の喫食率は40%以上であったが、2016年度の平均喫食率は約15%となっている。

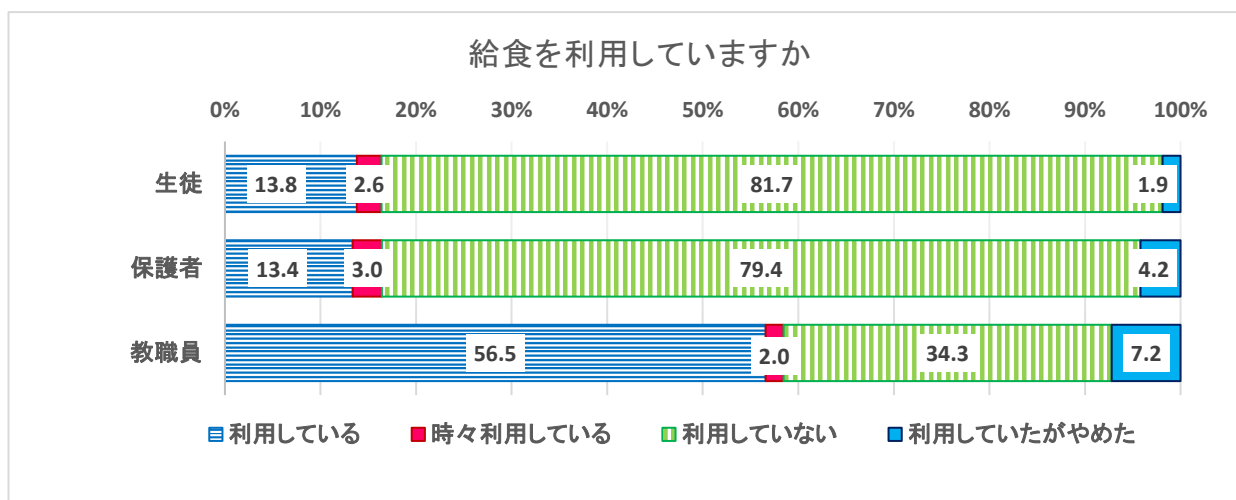
この状況を踏まえ、現行の中学校給食の利用者ならびに非利用者の満足度等を調査することで、喫食率低下の要因を抽出し、今後の取り組みの参考とするとともに喫食率向上に繋げることを目的として行った。

## 4 回収率

生徒 94%（6,399人） 保護者 47%（3,211人） 教職員 58%（359人）

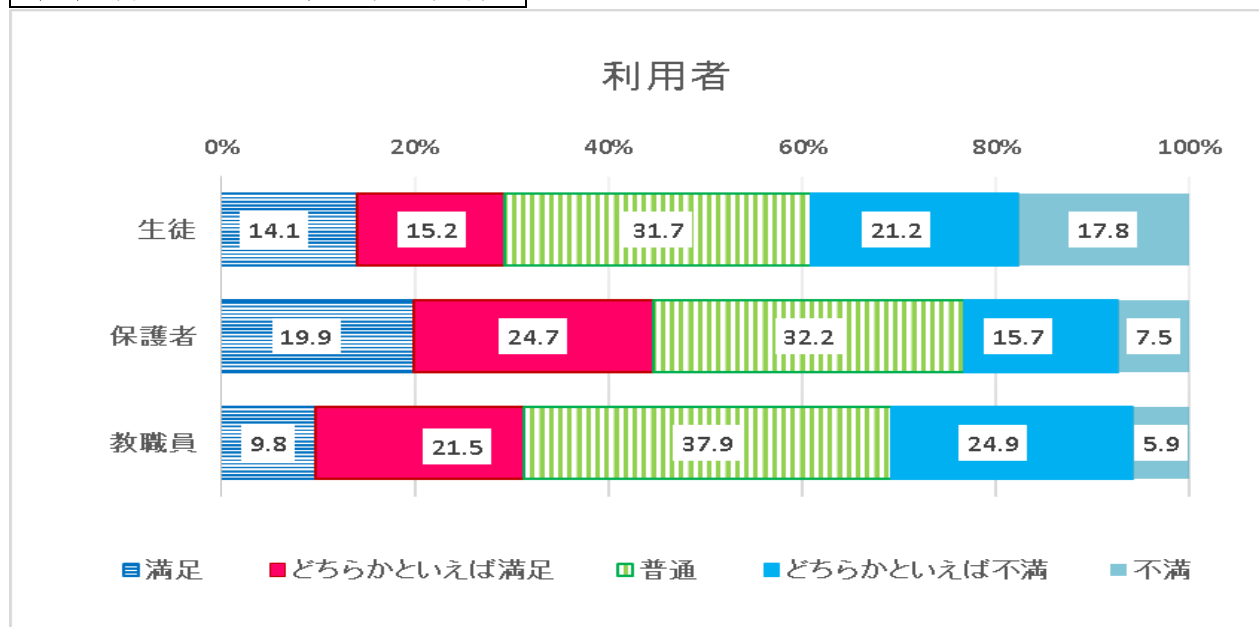
## 5 結果

### (1) 利用状況

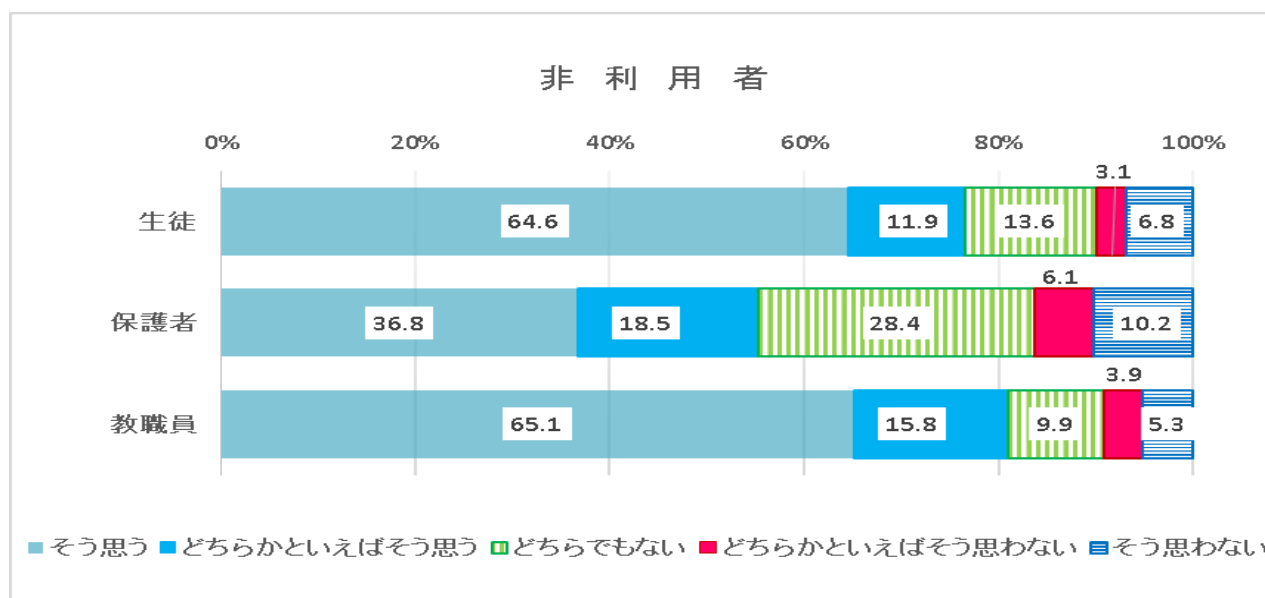


『利用している』『時々利用している』と回答したのは、生徒16.4%、保護者16.4%、教職員58.5%、『利用していない』『利用していたがやめた』と回答したのは、生徒83.6%、保護者83.6%、教職員41.5%であった。

## (2) 満足している利用者の割合



## (3) 今後も給食の利用は考えていない非利用者の割合



### 《利用者》

(1) で【給食を利用している】【時々利用している】と回答した人のうち、現在の中学校給食に『満足』『どちらかといえば満足』している割合は、生徒29.3%、保護者44.6%、教職員31.3%であり、『どちらかといえば不満』『不満』である割合は、生徒39%、保護者23.2%、教職員30.8%であった。

### 《非利用者》

(1) で【給食を利用していない】【利用していたがやめた】と回答した人のうち、今後も給食の利用を考えていないかについて『そう思う』『どちらかといえばそう思う』の割合は、生徒76.5%、保護者55.3%、教職員80.9%であり、『そう思わない』『どちらかといえばそう思わない』と回答した割合は、生徒9.9%、保護者16.3%、教職員9.2%であった。

●CS 分析（顧客満足度調査）について●

アンケート項目に関する回答の割合のみでは、中学校給食について不満に感じている要因を分析することが困難であるため、今回のアンケート調査ではCS 分析（顧客満足度調査）を用いることとした。

利用者、非利用者ごとの各質問項目に対する満足度をそれぞれ4つの領域に分類して評価した。

【利用者】

- 『1. 満足』：とても満足しているので現状を重点的に維持していく項目
- 『2. どちらかといえば満足』：満足しているので現状を維持していく項目
- 『3. どちらかといえば不満』：あまり満足していないので改善を要する項目
- 『4. 不満』：満足していないので重点的に改善を要する項目

【非利用者】

- 『1. そう思わない』：不満に感じていないので現状を重点的に維持していく項目
- 『2. どちらかといえばそう思わない』：どちらかといえば不満に感じていないので現状を維持していく項目
- 『3. どちらかといえばそう思う』：どちらかといえば不満に感じており現状の改善を要する項目
- 『4. そう思う』：不満に感じており重点的に改善を要する項目

（4）満足度調査

《利用者の比較》

|     | 満 足              | どちらかといえば満足                                 | どちらかといえば不満                      | 不 満                                   |
|-----|------------------|--|---------------------------------|---------------------------------------|
| 生 徒 | ◇該当なし            | ◇ランチボックス形式<br>◇量<br>◇準備（配膳方法）              | ◆配膳室の場所<br>◆給食時間                | ◆味付け<br>◆献立内容<br>◆温度                  |
| 保護者 | ◇献立内容・栄養バ<br>ランス | ◇払い込み方法                                    | ◆申し込み方法<br>◆払い込み期限<br>◆申込書提出の期限 | ◆該当なし                                 |
| 教職員 | ◇準備（配膳方法）        | ◇払い込み方法<br>◇払い込み期限<br>◇申込書提出の期限<br>◇申し込み方法 | ◆量<br>◆給食時間                     | ◆献立内容・栄養バ<br>ランス<br>◆温度<br>◆ランチボックス形式 |

《非利用者の比較》

|     | そう思わない                           | どちらかといえば<br>そう思わない  | どちらかといえば<br>そう思う  | そう思う  |
|-----|----------------------------------|---|---|---|
| 生徒  | ◇好きなおかずがない                       | ◇申込書を持ち帰るのが面倒<br>◇弁当箱のデザインが良くない<br>◇牛乳を飲みたくない<br>◇ランチボックス形式は良くない<br>◇クラスで頼んでいる友達がいないので頼みにくい | ◆食べる時間が足りない   | ◆美味しくなさそう（美味しくなかった）<br>◆冷たそう（冷たかった）<br>◆自分の食べる量と合わない<br>◆準備が大変そう（大変だった） |
| 保護者 | ◇昼食は親が作った方が良い<br>◇ランチボックス形式は良くない | ◇申込書の提出期限が短い<br>◇払い込み期限が短い<br>◇払い込み方法が不便  | ◆申し込み方法が不便<br>◆月ごと・学期ごとの申し込みが不便<br>◆クラスで頼んでいる友達が少ないので頼みにくいようだ | ◆子どもが家庭からのお弁当を望んでいる   |
| 教職員 | ◇ランチボックス形式は良くない                  | ◇払い込み期限が短い  | ◆申し込み期限が短い<br>◆払い込み方法が不便                                      | ◆申し込み方法が不便<br>◆月ごと・学期ごとの申し込みが不便   |

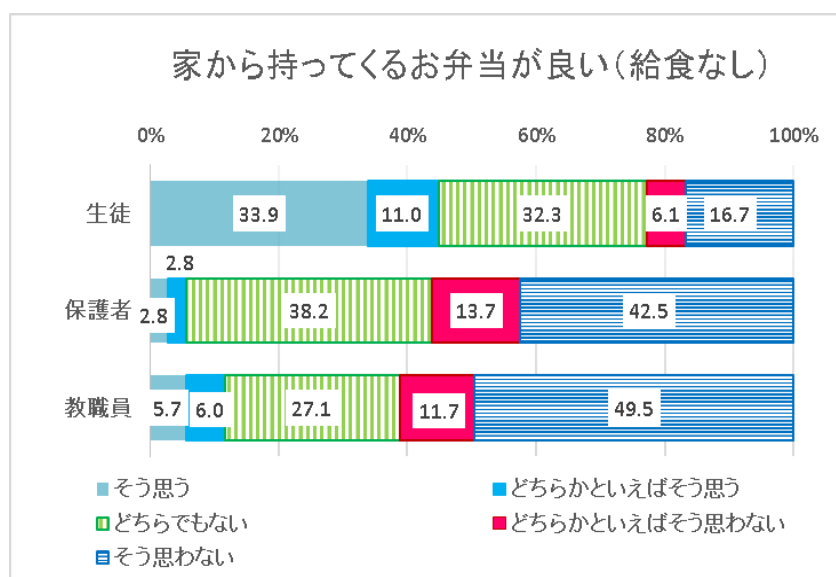
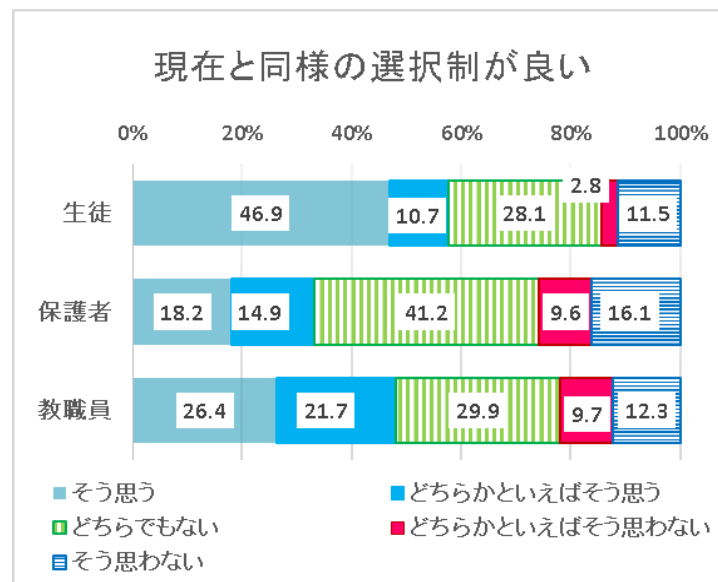
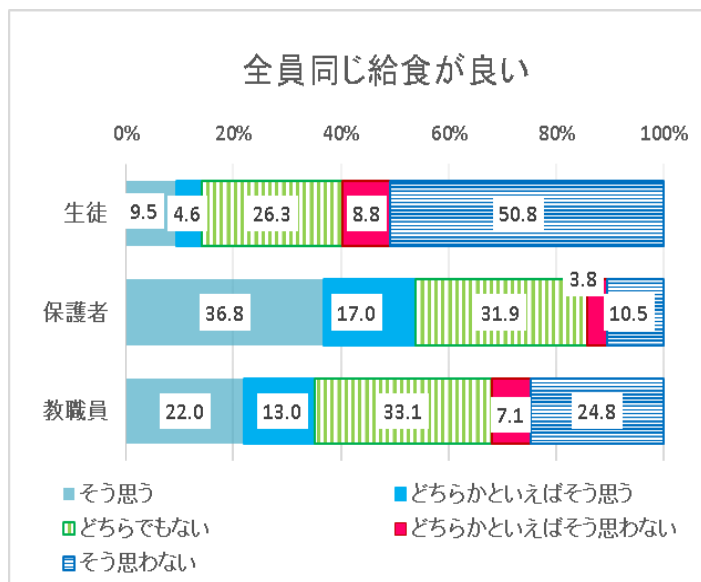
【結果】

利用者の保護者は献立内容・栄養バランスについては満足している結果となったが、生徒は献立内容・味付けに不満を持っている結果となり、生徒と保護者で大きな差があることがわかった。

保護者や教職員に質問した申し込みの利便性に関しては、利用者・非利用者ともに申し込み方法や期限について『どちらかといえば不満』『不満』と回答している項目が多く、不便を感じている。

ランチボックス形式については生徒の利用者・非利用者ともに『どちらかといえば満足』しており（不満を感じていない）、非利用者の保護者、教職員についても、ランチボックス形式については良くないとは思っていない（不満には感じていない）との結果になった。

## (5) 昼食について



### 【結果】

設問は全員（生徒、保護者、教職員）を対象として行った。

○全員同じ給食が良いか。

『そう思う』『どちらかといえばそう思う』と回答した割合は、生徒14.1%、保護者53.8%、教職員35%であり、『そう思わない』『どちらかといえばそう思わない』のと回答した割合は生徒59.6%、保護者14.3%、教職員31.9%という結果であった。

○現在と同様の選択制が良いか。

『そう思う』『どちらかといえばそう思う』と回答した割合は、生徒57.6%、保護者33.1%、教職員48.1%であり、『そう思わない』『どちらかといえばそう思わない』と回答した割合は、生徒14.3%、保護者25.7%、教職員22%という結果であった。

○全員家庭からのお弁当（給食なし）が良いか。

『そう思う』『どちらかといえばそう思う』と回答した割合は、生徒44.9%、保護者5.6%、教職員11.7%であり、『そう思わない』『どちらかといえばそう思わない』と回答した割合は、生徒22.8%、保護者56.2%、教職員61.2%という結果であった。